

2021年6月22日

各連携施設 ご担当者様

鳥取大学医学部附属病院
医療福祉支援センター長

経腸栄養分野の国際規格製品（誤接続防止コネクタ）への切り替えについて

拝啓 貴施設におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度当院では、厚生労働省発出の「相互接続防止コネクタに係る国際規格の導入について」を受け、当院では、2021年7月より経腸栄養分野の国際規格製品（誤接続防止コネクタ製品）に順次切替えることといたしました。

当院がこの度切替える新規格製品（国際規格製品）と旧規格製品を接続するためには変換コネクタが必要となります。旧規格製品を使用されている連携施設様におかれましては変換コネクタのご準備もしくは新規格製品への切替えをお願いします。

詳細につきましては下記 URL のご確認をお願いいたします。

■誤接続防止コネクタの国内導入について（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）

<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/medical-safety-info/O185.html>

ご多用のところ恐縮ではございますが、円滑な施設間連携を図るため、何卒ご協力の程宜しくお願い致します。

敬具

鳥取大学医学部附属病院
医療福祉支援センター
【電話】 0859-38-6961
【メール】 ifuku@ml.med.tottori-u.ac.jp

連携施設様向け 誤接続防止コネクタ導入のご案内

厚生労働省通知を受け、誤接続防止コネクタ製品を導入する運びとなりました。特に経腸栄養分野については、円滑な施設間連携を図るため、本紙をもって情報提供させていただきます。

当院の製品切替え予定

令和3年7月より順次国際規格製品（誤接続防止コネクタ）に切替えます。

今後の対応

切替え日以降に当院から転出する患者さんは、
右図の「新規格オス」タイプのコネクタ製品を使用します。

このタイプの製品に接続するためには、

- ① 「新規格メス」の製品を直接接続する。
 - ② 「変換コネクタ typeA」を介して、
既存規格オスの製品と接続する。
- のどちらかで対応する必要があります。



特に、「変換コネクタ typeA」がないと、既存規格オスの製品とは接続できません。

※新規格品の供給都合上、一部製品は既存規格を使用して転出する場合がございます。

連携施設様へのお願い

旧規格製品を使用されている連携施設様におかれましては変換コネクタのご準備もしくは新規格製品への切替えをお願いします。